

「エコ モビリティ ライフ」 推進に係る令和 4 年度 of 取組結果について

1 「エコ モビリティ ライフ」(「エコモビ」) に関する普及啓発

(1) 市町村等と連携した実践促進事業

- 県内各地域で市町村などが主催するイベントにおいて、市町村や交通事業者などの協議会構成員と連携・協力して、地域住民等に対して主体的な「エコモビ」の実践を促す取組を実施(3回)。

日程	イベント名	団体名
令和 4 年 4 月 23 日(土)	第 14 回名鉄でんしゃまつり	名古屋鉄道(株)
令和 4 年 9 月 10 日(土)	とよた産業フェスタ 2022	豊田市
令和 5 年 2 月 20 日(月) 令和 5 年 3 月 10 日(金)	「う・ら・ら」&「エコモビ」達人教室	東浦町

(2) 「あいちエコモビリティライフの日」(エコモビの日) における P R 及び実践

- 毎月第 1 水曜日の「エコモビの日」に合わせ、ショッピングセンター等での啓発活動を実施(イオンモール大高、mozo ワンダーシティ、ヴェルサウオーク西尾)。
- 庁内放送やメール・イントラネット等により「エコモビの日」を周知。



(3) P R 資材、広報媒体及び電子媒体を活用した普及啓発

- P R 資材(チラシ・啓発グッズ)の活用
 - ・ チラシ(A4判)を配布。
 - ・ ポケットティッシュ、乗り物定規等を P R 活動に活用。
- ウェブサイトの更新やメールの配信
 - ・ 「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド】にてエコモビの効果や、公共交通機関のお得情報を紹介するとともに、協議会構成員宛てにメールニュースを配信。
- 「エコモビ」紹介動画のウェブ配信
- 広報誌、会報誌などによる P R ・ 働きかけ
 - ・ 消費生活情報「あいち暮らしっく」(153号[令和4年5月26日]と154号[令和4年7月7日])、環境情報紙「環境かわら版」(317号[令和5年10月3日])、に「エコモビ」の記事を掲載して P R。
- 庁内放送などによる「エコモビ」実践の呼びかけ

(4) キャンペーン・各種イベント・各種取組などによる普及啓発

- ・ 市主催のイベントにおいて、「エコモビ」をPR。
- ・ 交通・環境イベントや研修会、各種会議などを活用した普及、啓発を実施。
- ・ リニモ沿線地域において、わくわく体験リニモツアーズや沿線ウォーキング等のイベントを開催し、合わせて「エコモビ」をPR。
- ・ 小中学校における、バスの乗り方等を学べるバス乗り方教室の実施。

2 エコ通勤・エコ通学への転換促進

(1) 「エコモビ実践セミナー」の開催

- ・ あいちエコモビリティライフ推進協議会構成員及びエコ通勤等に関心のある県内企業・団体等を対象に、「エコモビ」の実践的な取組を推進するに当たって役立つ情報や積極的に取り組んでいる企業等における具体的な実践例を紹介する「エコモビ実践セミナー」を令和4年10月に実施。

○講演

講師：名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科
教授 松本 幸正 先生

講演内容：「一緒にしませんか？エコモビによる地域社会への貢献」

(2) 「エコモビ実践キャンペーン2022」の実施

- ・ 通勤を含めた業務目的の移動についてクルマの使い方を見直すきっかけとするため、県内の企業、各種団体、行政等で「エコモビ」の趣旨に賛同する団体を対象に、エコ通勤等への転換を促進するキャンペーンを実施。

(実施期間) 令和4年11月17日(木)から12月16日(金)まで

(参加対象) 県内の企業、各種団体、行政等で「エコモビ」の趣旨に賛同する団体

(参加企業・団体等数) 207企業・団体等

- (取組内容)
1. 「エコモビ」情報の周知・実践の働きかけ
 2. 県内一斉「エコ通勤デー」(12月7日)への参加
 3. エコ通勤の推進
 4. 環境に配慮した自動車利用等の推進

※ キャンペーン実施に当たっては、公共交通機関を安心してご利用いただくための利用者への3つのお願い(国土交通省HPより)を周知

(3) エコ通勤・エコ通学の働きかけ

○ リニモ沿線地域におけるエコ通勤・エコ通学への転換促進

- ・ リニモ沿線住民や沿線大学の学生を対象に、リニモの利用を促す啓発資料を配布し、公共交通を利用した通勤・通学への転換を促進。

○ 職員、社員のエコ通勤への転換促進

- ・ エコ通勤実践者に対する報奨制度、エコ通勤に関する補助制度の設定、自転車通勤者への通勤手当支給などによるエコ通勤への転換促進。

- ・ 自転車通勤者への通勤手当支給。屋根付き駐輪場、更衣室やカップ干し、シャワー室など、自転車通勤を促す設備の整備。

3 パーク&ライドの普及拡大

(1) 「パーク&ライド利用促進モデル事業」の実施

- ・ 名古屋東部丘陵地域、名鉄西尾・蒲郡線沿線を中心とした地域においてモデル地区を設定し、住民にパーク&ライド実践の動機付けを行うとともに、MaaSとパーク&ライドの連携方策を検討。

(2) 桃花台線旧車両基地用地におけるパーク&ライド駐車場の運営

- ・ 本県及び小牧市が桃花台新交通株式会社から取得した旧車両基地用地の一部において、パーク&ライド駐車場（41台分）を設置して運営。

(3) 市町村、交通事業者、小売事業者等によるパーク&ライドの普及推進

- ・ 駅やバス停付近に駐車場や駐輪場を整備
- ・ コミュニティバスの利便性向上のため、バス停のある公共施設の駐輪場をサイクル&バスライド駐輪場として運用
- ・ 大型店舗の既存駐車場を活用した店舗利用型パーク&ライド駐車場を運営
- ・ 交通系ICカードを用いて対象の鉄道を利用した人に駐車料金を優遇する駐車場を運営
- ・ 市広報やHPにパーク&ライド情報を掲載、各駅にてPR

4 公共交通利用の動機付け

(1) 公共交通機関に関する情報のオープンデータ化の推進

- ・ GTFIS-JPデータ作成、グーグルマップへのデータ提供支援

(2) 公共交通の利便性向上に向けた取組の推進

- ・ 公共交通マップの配布等による公共交通の利便性の向上
- ・ 公共交通を利用した時刻・経路・料金を調べることができるサービス等の提供
- ・ 交通系ICカードのほか、各種QRコード決済の導入など、キャッシュレスによる決済手段の充実
- ・ 屋根やいすを新設するなど、バス停の待合スペースの改善

(3) 公共交通利用者への優遇措置の導入・働きかけ

- ・ 「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド（エコモビお得情報）】において、公共交通利用者への様々なサービスを掲載
- ・ 公共交通利用者に対し、観光施設や飲食店等での割引や特典を付与
- ・ コミュニティバス回数券の販売、無料券の配布（対象者・期間限定）

5 その他

(1) 自転車、徒歩などによる移動の推進

- ・ 自転車利用促進に関する県民向け啓発チラシの配布。
- ・ シェアサイクル、レンタサイクル事業の実施、利用促進。
- ・ 県内で展開されているシェアサイクル事業の紹介（自転車利用促進チラシの裏面）。
- ・ 自転車道の整備、自転車マップの作成・配布。

(2) 環境に優しい自動車利用の促進

- ・ EV・PFV・FCVの普及促進及び電気自動車充電スタンドの設置。
- ・ エコドライブ・アイドリングストップの推進。
- ・ カーシェアリングの利用促進。

(3) ITS（高度道路交通システム）の推進

- ・ ITSの推進を通じ、公共交通の利用促進、移動の利便性・快適性の向上を推進。
- ・ パソコンやスマートフォンで閲覧可能なバスの運行状況案内システム（バスロケーションシステム）の運用。

(4) MaaSの普及促進

- ・ 地域公共交通などの移動手段と多様なサービスを組み合わせたMaaSの導入に向け、名古屋東部丘陵地域を対象に実証実験を実施。
- ・ 県内各地でのMaaSの展開

(5) 協議会への加入促進

- ・ 県の各局に対し、総合評価競争入札及び企画競争において「エコモビの推進」を評価項目に設定するよう働きかけ。

